

⑮板垣坂バイパス整備事業

受賞機関 福井県 丹南土木事務所

キーワード 地盤対策、事業効果

全建賞審査委員会の評価ポイント

地すべり地形に対応した厚層の地盤改良による人工地山を形成して押え盛土としての機能を付与し、増しロックボルト工やH鋼連結による偏土圧対策、低土被り区間でのウレタン系注入材への変更により、天端の崩落を防止した。これら複合的な対策により、厳しい地質条件下でのトンネル施工を安全に完了させた点が評価された。

1. はじめに

国道417号は、岐阜県大垣市を起点とし、福井県池田町及び越前市を経て南越前町に至る幹線道路であり、第一次緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。「板垣坂バイパス」は、池田町板垣から越前市南坂下町に至る、事業延長3,450mの区間を整備したものであり、平成29年度に事業化され、令和6年11月24日に供用を開始した。



開通式でのくす玉開き

2. 事業の概要

本事業区間は豪雪地帯に位置し、現道は急勾配及び急カーブが連続して線形が悪く、円滑な交通に支障が生じていた。そのため、本区間にバイパス道路を整備し、安全で円滑な交通を確保するとともに、緊急輸送機能の強化及び地域間連携の向上を図るものである。

事業延長のうち2,475mはトンネル区間であり、道路規格は第3種第4級、設計速度は50km/h、総事業費は約90億円である。

トンネルはNATM工法で施工され、地質は安山岩溶岩及び火砕岩を主体としており、坑口部には崖錐堆積物が分布するなど、施工条件は極めて厳しかった。これに対し、人工地山の形成、地盤改良や低土被り区間における補助工法の工夫等、複合的な地盤対策を講じることで安全にトンネルを完成させた。

3. 事業の成果

本バイパスをトンネル化したことにより、道路線形（急カーブ及び急勾配）が大きく改善し、安全で走行性の高い道路が確保された。また、国道417号「クラウンロード」や国道476号「白栗バイパス」と連携し、丹南地域の東の玄関口である池田町を起点とする広域道路ネットワークが強化され、観光振興及び地域活性化への寄与が期待されている。

地域への波及効果としては、観光施設の利用者が増加している。池田町の「こってコテいけだ」では、来場者数が約1.3倍に増加するなど観光交流の拡大が確認されている。さらに、県外からの利用者の割合も大幅に増加し、交流の拡大にもつながっている。



新板垣トンネルの通行状況（越前市側）

4. おわりに

本事業を厳しい地質条件及び豪雪環境下においても安全に完遂できたのは、池田町及び越前市をはじめとする関係機関や地域住民の皆さまのご理解とご協力、施工に携わった方々のご尽力によるものである。

本バイパスの整備により、池田町と越前市を結ぶ交通の安全性及び定時性が向上し、地域の暮らしや産業活動を支える基盤が強化された。今後も本路線が地域の防災力向上に寄与するとともに、新たな交流の場を創出し、池田町及び越前市の更なる発展を支える社会基盤として機能することが期待される。

賛助会員 (株)西村組、(株)羽崎組、(株)岩佐土建、轟建設(株)